

夢の芽と神の実(カミヤリヨウイチ)

一角獣が滅んだあとに、  
やがて大地から新しい芽がはえた。  
そのはえた芽を「夢」とよび、  
たわわな実をつけたものを

「神」とよんだが、

いまではもう摘みとられてしまっていない。

